

1. 下斗米伸夫, 島田博編著『現代ロシアを知るための 60 章』明石書店, 2012 年 (共著: 第 12 章「民族問題とロシア政治」(p. 88-92), 第 21 章「現代のモスクワ」(p. 135-139))
2. 下斗米伸夫編著『ロシアの歴史を知るための 50 章』明石書店, 2016 年 (共著: 第 26 章「冷戦とソ連の核開発—米国製原爆のコピーから独自体制の構築へ」(p. 192-197))
3. «Философия экономики; история и современность», Национальная Академия наук Азербайджана Институт философии, 2017. С.544. (『経済の哲学: 歴史と現在』アゼルバイジャン共和国科学アカデミー哲学研究所、2017 年、全 544 頁)
4. Тосихиро Катагири, Такаси Хирано, Ясуси Томосигэ, «Экспортный потенциал продвижения азербайджанской нефти в Украину и Беларусь; взгляды трех стран по поиску «украинского маршрута»».ст.101-126. (共著: 片桐俊浩、平野高志、友繁弥寿志著。論文タイトル:「アゼルバイジャン産石油のウクライナ及びベラルーシへの輸出ポテンシャル: “ウクライナ・ルート” をめぐる三国の視座」 p. 101-126.)
5. 廣瀬陽子編著『アゼルバイジャンを知るための 67 章』明石書店、2018 年 (第 36 章「産業分野の現状と今後の課題 浮かび上がる人材育成の重要性」 p. 214-218、第 37 章「金融と通貨 油価下落の直撃を受けた銀行業界」 p. 222-227、第 59 章「政治の中のスポーツ行事 国際イベントを通じた国の知名度の向上」 p. 350-354、第 61 章「日本とアゼルバイジャンの関係 両国間に根付きつつある相手国への敬意」 p. 364-369、コラム「海上の楼閣ハザルアイランド」 p. 219-221)